本で広がる世界
本でふくらむ夢

京都市図書館情報誌

京図ものがたり（きょうと）

特集

あなたはどんな図書館に行ってみたい？
～進化する京都市図書館の「いま」～





図書館の自由に関する宣言

1979年改訂（主文）

図書館は、基本的人権のひとつとして知る自由をもつ国民に、資料と施設を提供することを、もっとも重要な任務とする。

この任務を果たすため、図書館は次のことを確認し実践する。

第1　図書館は資料収集の自由を有する。
第2　図書館は資料提供の自由を有する。
第3　図書館は利用者の秘密を守る。
第4　図書館はすべての検閲に反対する。

図書館の自由が侵されるとき、われわれは団結して、あくまで自由を守る。

公益社団法人　日本図書館協会





その他のページ

図書館の本棚から　司書がすすめるこの1冊……5
電子書籍、この1点……5
レファレンスこぼれ話……6

あなたの好奇心に応える

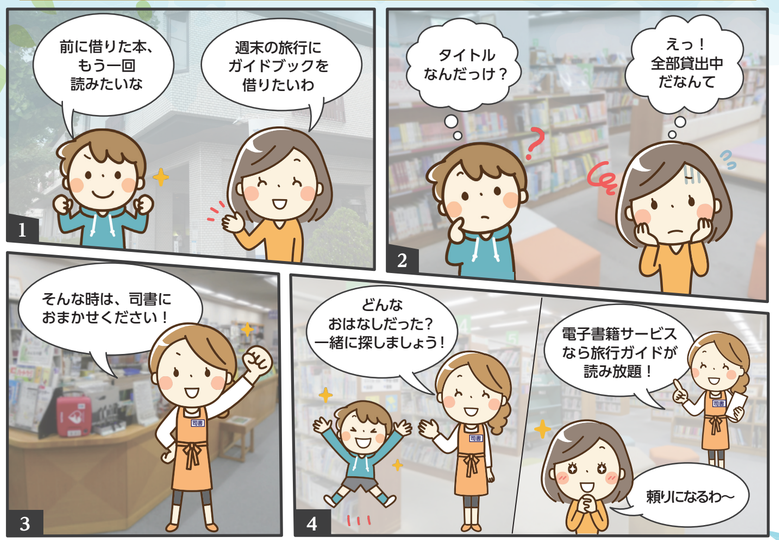
vol.62
令和8年10月発行

あなたはどんな図書館に行ってみたい？

～進化する京都市図書館の「いま」～

みなさんは図書館といえばどのようなイメージをもちますか？本を読むところ？調べものをするところ？京都市図書館では、従来の「本と人をつなぐ」機能は大切に、さらに便利で使い勝手のよい図書館づくりに取り組んでいます。今回の特集では、京都市図書館の「いま」をご紹介します。

京都市図書館はあなたの“知りたい”をサポートします！



情報収集は図書館へ！

調べものはインターネットで検索したり、AIに相談すれば簡単！と思っていませんか。それって本当に正しい情報でしょうか？

京都市図書館では、専門的なものから娯楽的なものまで、児童書、教養・趣味・実用書、小説、京都に関する本など幅広い分野の資料を揃えています。また、CD・DVDなどの視聴覚資料や雑誌、新聞もご利用いただけます。

知りたい事がらについて、様々な角度から書かれた資料を比較することができるので、情報収集に最適です。

お探しの本が見つからない場合は、お気軽にカウンターまでご相談ください。みなさんからの質問・相談を受けて、必要な資料を探すお手伝いをしています。（レファレンスサービス）

所蔵がない資料は、京都府内の図書館をはじめ、国立国会図書館や他府県の蔵書を取り寄せることもできます。（一部送料がかかる場合があります。）

いつでも・どこでも読める旅行ガイド！ るるぶ 読み放題

電子書籍サービスでは、47都道府県の『るるぶ』（JTBパブリッシング）をいつでも、どこでも読むことができます。旅行の計画や旅先で、ぜひご活用ください！

電子書籍サービスを利用するには、図書館カードの発行と、インターネットサービス「Myライブラリ」のパスワード登録が必要です。

お近くの京都市図書館のカウンターでお申し込みください。

京都市図書館 電子書籍サービス

京都市では、すべての人に「居場所」と「出番」があるまちづくりを進めています。
図書館においても、市民が気軽につどい、つながり合えるような仕組みづくりに取り組んでいます。

図書館が人とのつながりや活躍の機会を提供できる場となるよう、令和７年度に新たな可能性を探るイベント等の実証実験やアンケート調査が実施されました。
市民の皆さんから寄せられた声を反映して、新しい試みが始まっています。

第三の居場所（サードプレイス）に！

これまでの「本を読む場所」だけに留まらず、あらゆる世代の人が安心してくつろげたり、人と交流できたりする居心地の良い空間づくりを目指します。





（中央）　（左京）



（岩倉）　（右京中央）

利用者が自由に書き込めるコミュニケーションボード



【期間限定】図書館でコーヒータイム（西京）



【期間限定】自習スペース（伏見中央）

図書館でわくわく体験してみませんか？



図書館では、書棚の図書の整理などを行うボランティアやおたのしみ会で子どもたちに読み聞かせを行う団体、職員と一緒に事業の企画運営を行う学生など、たくさんの方がその活動を支えてくださっています。
あなたも図書館を一緒に盛り上げてみませんか。

つながり、そだつ 図書館に

京都市図書館では、学校や区役所、読書団体をはじめ、書店やNPO法人、金融機関、鉄道会社など様々な機関と連携した取り組みを進めています。

高校 × 図書館





0歳からの絵本コンサート

４月に「子ども読書の日」記念事業として開催している京都堀川音楽高等学校とのコラボ企画。
司書の読み聞かせと高校生のみなさんの素敵な演奏が楽しめます。

青い鳥号 あなたと本をむすぶ

出前事業専用車両「青い鳥号」に図書館の本を詰め込んで、さあ、出発！
幼稚園や保育園、小・中学校のほか、子ども食堂やまちライブラリーとの連携など活動の幅も広がっています。



のぼり旗は、京都市立美術工芸高等学校デザイン専攻有志のみなさん、車両は前身の銅駝美術工芸高等学校の生徒さんが描いてくれました。

認知症 × 図書館



回想法のイベント

回想法とは主に高齢者が、懐かしい写真や子どもの頃の生活が書かれた絵本等を見て、昔の経験や思い出を語り合う一種の心理療法です。

地域コミュニティの拠点に！

多世代や地域など様々な交流を通して、新たなつながりや活動の機会を創り出すことにより、価値や気づきに出会える場を目指します。



関連図書の展示コーナー

９月の認知症月間（世界アルツハイマー月間）には、各図書館で関連図書の展示やポスターの掲示、リーフレット類の配布などを行っています。また、関係機関と一緒に回想法の実施やフレイル予防など認知症啓発に取り組んでいます。

警察署 × 図書館



各図書館の特色を生かしたさまざまなイベントを開催しています。身近な図書館で楽しく学べるひとときをお過ごしください。

まちライブラリー×図書館



各図書館の情報は京都市図書館ホームページへ　公式X

図書館の本棚から

司書がすすめる この1冊



『僕には鳥の言葉がわかる』



鈴木 俊貴／著
小学館

探究の面白さここに極まれり。読めば世界を見る目が変わる！世界で初めて鳥が会話していることを解明した動物言語学者・鈴木俊貴さんの本です。

「シジュウカラは会話する」。この世紀の大発見に立ち会っているかのような臨場感が、この本の魅力です。小鳥をじっくり観察しているからこそ得られる気づきをもとに、子どもの頃から親しんだ生き物の知識や、時にルー大柴さんのルー語をヒントにして実験計画を考え、それを実行するときのわくわく感。クリアな結果が出たときの喜び。研究の楽しさがいっぱい詰まっています。

そして語られるエピソードの面白いこと！長期滞在の軽井沢で食料が尽き1か月間米だけのアレンジご飯を考案したり、研究費用を稼ぐためにバッタを捕るアルバイトをしたり、発見した鳥語を使ってピンチのシジュウカラを救ったり。読み進めるうちにすっかりシジュウカラと鈴木さんのファンになり、国際学会で披露した研究成果が拍手喝采で迎えられる場面では、思わずもらい泣きしてしまいます。

「言葉を持つのは人間だけ」。二千年以上続くその「常識」を打ち破った先には、驚くべき豊かな未来の予感が広がっていました。小鳥は種の壁を超えて会話しているとか。太古の人間がきっとそうだったように、自分も仲間に入りたいと思うのは私だけではないはず。鳥の声が、急に鮮やかに聞こえだす一冊です。

（N）

電子書籍、この1点

京都市図書館
電子書籍サービス
ウェブサイト

「借りる」も「返す」もクリック(タップ)するだけ!

いつでもどこでも読書が楽しめる便利な電子書籍サービスは、もうご利用いただきましたか？インターネット環境があれば、あなたのパソコンやスマートフォン、タブレットがたちまち図書館に早変わり！

電子書籍には音声読み上げ機能があるコンテンツや、いつでも待たずに読める「児童書 読み放題」・旅行ガイドブック「るるぶ 読み放題」(国内のみ)もあります。

他にも電子書籍のコンテンツをご用意しています。ぜひ、上の二次元コードからチェックしてくださいね。

音声読み上げできる本

いつでも読める！いっしょに読める！ 児童書 読み放題

いつでもどこでも読める旅行ガイド！ るるぶ 読み放題

『毎日おみそ汁365日』

えちごいち味噌/著
自由国民社

定番のものから、みそを使ったポタージュやデザートおみそ汁まで!?

我が家のおみそ汁は、豆腐やわかめなどいつも同じ具材ですが、意外な食材のレシピがたくさんみつかりました。まずは、冷蔵庫にいつもあるけれどおみそ汁には入れたことがない、梅干しを使ったものに挑戦してみたいと思います。電子書籍ならお料理中も、本の汚れを気にせず見ることができて便利です!

（K）



電子書籍サービスの使い方がわからない…そんなときにはこちら！

醍醐中央図書館YouTube「**京都市図書館電子書籍サービスの使い方**」では、基本的な操作方法「ログイン」「探す」「借りる」について、「**京都市図書館電子書籍サービスの使い方 便利な機能編**」では、「文字サイズの変更」「表示色の反転」「音声読み上げ」についてご紹介しています。ぜひご覧ください！

よもうちゃんねる　検索

京都市図書館
電子書籍サービスの
使い方▶

京都市図書館
電子書籍サービスの
使い方
便利な機能編▶



レファレンスこぼれ話

～あなたの知りたいにおこたえします!～

レファレンスとは、みなさんからの質問・相談を受けて、調べものに必要な資料を探すお手伝いをすることです。「レファレンスこぼれ話」はレファレンスについてのエピソードを紹介するコーナーです。

昔の写真を探しています ～蛇塚古墳の場合～

遠慮がちな女性がカウンターに来られました。「あの、蛇塚古墳が藪だったと聞いて、見たいと思いまして…」知り合いに聞いたので、いつ頃のことか分からないとのこと。“蛇塚古墳”は右京中央図書館から歩いて３０分ほどの太秦面影町にあります。確か大きな写真が載っていたはず…と記憶を頼りに右京区の情報誌『右京じかん　vol.01春号』を確認すると、見つけました！覆う土が無くなり、剥き出しになった石室が住宅に囲まれているカラー写真です。古墳の周辺はアスファルトで、藪はどこにも見当たりません。

まずは、いつから住宅地になっていたかを当館の所蔵する古い住宅地図で確認します。一番古い昭和44年（1969）発行の『京都市新家屋精密地図　右京区（北部）』には、すでに住宅が書き込まれていました。これで調査対象が昭和44年より古い時期の写真に絞られました。

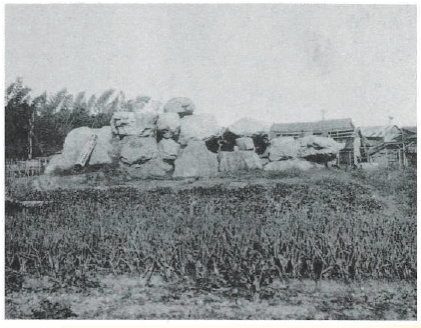
次に古い写真を探すため、京都市図書館が所蔵する写真集を当館がまとめたリスト「京都の街並みと写真」に記載されている本に目を通しましたが、蛇塚古墳の写真は見つからず。質問者はお急ぎでなかったので、調査の時間をいただいて、改めて回答することとなりました。

気を取り直して、古墳から再調査です。京都の古代史についての資料を集めた棚から見つけた『平安京以前～古墳が造られた時代～』に昭和11年（1936）の白黒写真を発見！古墳の前方に畑らしきもの、後方に竹藪と古い住宅が見えます。説明文によると、古くは竹藪が広がっていましたが、昭和初期に周辺の耕作地化に伴い墳丘盛土が削られて石室が露出し、その後、宅地化が進んだようです。

後日、質問者に資料をご案内したところ、非常に喜んでいただけました。調査を通じて、地域の古い姿に触れることができたレファレンスでした。



『平安京以前』


昭和11年当時の蛇塚古墳（南西から）

※京都の古い写真のリストは京都市図書館のウェブサイトからも確認できます。
「京都市図書館トップページ」➡「調べもの・相談（レファレンス）」➡「京都のことを調べる」➡「京都学へのアプローチ（図書リスト）」➡「町並みと街道」➡「京都の町並みと写真」

【参考文献】
『右京じかん　vol.01 春号』
（［子育ては親育て・みのりのもり劇場］／編集　子育ては親育て・みのりのもり劇場　2012）資料コード：338047603
『京都市新家屋精密地図　右京区（北部）』
（吉田 寿三／編集 住宅協会出版部 1969）資料コード：331970732
『平安京以前　古墳が造られた時代』
（京都市文化市民局文化芸術都市推進室　文化財保護課／編集
京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課　2012）
資料コード：338053654

編◆集◆後◆記

全国に新しく、広く、おしゃれな図書館が続々とオープンしています。そんなニュースを見るたびに羨ましく思います。今号では京都市図書館の今を知るべく、行っていることをピックアップしました。ほんの一部ではありますが、文章や写真で見ると、改めてさまざまな事業を実施し、各種団体と連携をしていることが分かります。それもそのはず、なんと令和七年度の行事実施回数は１９０３回、そして８万５４６０人もの方にご参加いただきました！

今の環境で可能な限り出来ることを模索・実施し、愚直に京都市図書館としての矜持を大切にしていきたいと思いました。

（H）

京図ものがたり vol.62

発行　令和8年10月
編集・発行　(公財)京都市生涯学習振興財団
財団本部総務課企画係(京都市図書館担当)
〒604-8401　京都市中京区聚楽廻松下町9-2
TEL　075-802-3145

- 京都市図書館ホームページ
  https://www2.kyotocitylib.jp/
- 携帯サイト
  http://www.kyotocitylib.jp/i/
- 公式X
  @KyotoCityLib

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で「京都はぐくみ憲章」を実践しましょう!

京都はぐくみ憲章

京都市♥地域コミュニティ活性化

地球環境を守るため、できる限り市バス・地下鉄等をご利用ください。